



# プロバスだより

第356号

2025年7月10日発行

編集・発行 情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年10月18日

2024～2025年度 テーマ

語り合いたい場、語れる場、学び高まる場

## 第 356 回例会

日 時 令和7年6月12日(木) 12:00～15:00

場 所 八王子エルシィ

出席者 29名 出席率 85%

(会員総数 37名、欠席5名、休会3名)

### 1. 開 会

河西例会副委員長

第356回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

### 2. 会長挨拶

塚本会長

本日は例会にご出席を頂きありがとうございます。五月の例会は会員研修を兼ねた特別例会をお寿司屋さんにて行いましたが、本日はいつもの通りの場となり落ち着いた会になることでしょう。

5月19日に横浜まろにエプロバスクラブの創立15周年記念祝賀会に東京八王子プロバスクラブから5名の会員が参加しました。交流の時間は少なかったが横浜の開国、開港の歴史話などを聞くことができました。神奈川県内には現在4つのクラブがあり相互に交流をしているとのことでした。

東京八王子プロバスクラブが本年10月に30周年記念式典及び祝賀会を行う予定であることを伝えると「参加をしたい」という声を多くの方から頂いてまいりました。

令和7年度の“宇宙の学校”が6月1日(日)八王子学園会場にてスタートしました。プロバスの方の参加者が5名でした。6月15日(日)には東京高専にてありますのでよろしくお願いいたします。

本日の例会は今年度最後の例会となります。一年間各委員会の委員長さんをはじめ各会員の皆様には今年度のスローガン「語り合いたい場、語れる場、学び高まる場」に対しまして、工夫をされ、会の活動を活発に運んでくださったことに心からお礼申し上げます。

クラブのメイン事業でありました合唱祭は、参加校も前年度より増え、当日は観客席が満席となる状況でした。宇宙の学校は受講希望者が多く、抽選にて決める状況でした。補助役を集めるのには苦勞をしましたが、参加者には大変喜ばれた事業でした。この二つは大変な好評のもと実施でき、成功裏にて終了をしたと思います。

唯一残念なことはこの一年間にてご逝去された方が4名、退会・休会合わせ3名いらしたことです。会員の健康、本会への入会者のお誘いは会の発展のためにも、今の本会の大きな課題であることを感じた一年間でもありました。

温かいご協力を頂き誠にありがとうございました。

### 3. ハッピーボックス披露

一瀬副会長からハッピーボックス13件の披露がありました。(3～4ページに掲載)

### 4. バースデーカードの贈呈

6月生れの塚本吉紀会長、一瀬明会員、持田律三会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。



左から持田会員、塚本会長、一瀬会員

### 5. 次年度の人事構成・役員分掌

2025年度(2025年7月から2026年6月まで)の役員人事の発表がありました。(敬称略)

## 年度末懇親会

一年間の活動を慰労するための懇親会が開催されました。シニア・ダンディーズの演奏を楽しんだ後、本部を初め各委員会・宇宙の学校プロジェクトなどの各会員が壇上にてそれぞれ挨拶されました。



### 7. プロバス賛歌

起立・斉唱

### 8. 閉会挨拶

一瀬副会長

皆さんの笑顔がすべてを物語っていると思います。今期最後の例会でしたが大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。語り合う時間がゆっくりあるというのはいいことですね

シニア・ダンディーズも新曲を仕入れて果敢にチャレンジしてくれました。ホームゲームでかえって難しかったかも。

これで29期から30期にバトンがわたります。東京八王子プロバスクラブが来期益々発展することを祈って閉会の辞といたします。

## 寄稿

タンゴ

橋本 鋼二

学生時代、一九五〇年代後半の札幌の話である。寮の先輩たちが食堂を使って社交ダンスの講習会を開いてくれた。お相手となる女性初心者は近くの看護学校の生徒達だった。覚えた幾つかのステップで曲がりなりにもダンスをした時代がある。当時はダンスが盛んで、学生団体が主催して市内の体育館などを借り、パーティ券を売って資金集めをするのも珍しくなかった。皆貧しく、若者の娯楽が乏しかった時代であった。そうしたなかでタンゴに惹かれ、なかでも「黒い瞳」「碧空」などコンチネンタル・タンゴ（ヨーロッパ・タンゴ）の曲が好きになった。ダンスをしなく

会長 持田 律三  
副会長 丸山 恭  
幹事 河西 成幸  
副幹事 有泉 裕子  
事務局 齊藤万里子  
例会委員会 委員長 馬場 征彦  
副委員長 岩島 寛 野口 浩平  
土屋三千代  
情報委員会 委員長 丸山 恭  
副委員長 河合 和郎 内山 雅之  
大野 教子  
会員・研修委員会 委員長 池田ときえ  
副委員長 杉山 友一 根本 照代  
深谷 正徳  
地域奉仕委員会 委員長 持田 律三  
副委員長 飯田富美子 泉 道夫  
山本 通陽  
「宇宙の学校」プロジェクト  
リーダー 塚本 吉紀  
サブリーダー 野口 浩平  
交流担当 田中 信昭  
広報プロジェクト 杉山 友一  
会計監査 岩島 寛 大野 教子  
全日本プロバス協議会・会長委嘱  
理事 田中 信昭  
理事 一瀬 明  
顧問 立川富美代

### 6. 幹事報告

齊藤幹事

29期最後の幹事報告です。皆様の御協力に感謝しかありません。和の力・語る力を尊ぶ会長のもとキャリアある委員長の中でお力を借りながら、懸案事項の会費の値上げもできました。会員の皆さまに値上げをしなければやっていけない状況も理解していただきました。

持田次期会長の30期のポジションはスーパーマンのようなご活躍です。皆様のご協力で翼が大きく広げられるよう是非是非お願いいたします。

宇宙の学校のボランティアもできるだけ会員の参加をお願いいたします。

一年間有難うございました。

なり、タンゴを耳にする機会も減ってからおよそ四十年、一九九〇年代に入って幾たびかアルゼンチンを訪れたので、ブエノスアイレスでアルゼンチンタンゴの生演奏を聞く機会があった。歯切れの良い本場のタンゴは心地良かった。市内には、厚いステーキを食べ、ディナーショーでタンゴを楽しむレストランが観光客向けに幾つもある。私の行ったのは二階バルコニーからショーを眺める大きなところと、小さな映画館くらいの面積で間近に演奏者がいるところを二箇所、こちらは臨場感があった。その一つはタンゴ好きなら名前を知っている El Viejo Almacén (エル ビエホ アルマセン) だった。ここで食事を取り、演奏を聴いた。私たちのリクエストに応じて「カミニート」を日本語の歌詞で唄ってくれた。演奏は夜半の十二時になっても終わらなかった。

ブエノスアイレスは南米のパリともいわれる美しい



大都市である。世界三大オペラハウスの一つがあり、巨大なサッカースタジアムにも驚かされる。紫色の花が房状に咲く花木ジャカラランダの盛りは11月上旬らしいが、私の訪ねた下旬でも美しさを留めていた。

下町にはタンゴ「カミニート」に助けられてか観光スポットとして賑わっている所があり、近くの路上で演奏やダンスを披露し、観光客からの投げ銭を受けるグループも見受けられた。地味な服装の中年女性が観光客の相手をしていた。彼らの演奏は取り澄まして聴くレベルではなさそうだが、



かえって発祥の地らしい雰囲気を作りだしているようにも思えた。サンデーマーケットの一角の広場で妖艶なダンスを披露しているグループもあった。右に低い姿勢でカメラを向けているのが私である。一流のダンサーになるのは、厳しい狭い道を抜けていかなければならないそうだが、彼らはこれからさらに上を目指



していく人たちなのか、それとも登れずにここで日銭を稼いでいるのかどちらであろうか。

ブエノスアイレスを訪ねた頃、土産にアルゼンチンタンゴのCDを何枚か買ったのが手許にある。録音はあまり良くないが、当時の有名バンドの演奏で馴染みの曲も入っている。これらは残念ながら曲名だけで歌詞がついていない。

二〇二一年に入って昔懐かしいタンゴのCDを何枚か買った。アルフレッドハウゼ楽団が演ずるコンチネンタルタンゴのセット、それに一九六〇年代に「タンゴの女王」と言われた藤沢蘭子一枚である。彼女のアルバムには歌詞カードがついていた。スペイン語の歌詞だが少しはわかる単語があり、身近になった。三年余を南米で過ごしたおかげである。

Muchas gracias!

## ハッピーボックス

- ◆1年間お世話になりました。皆様のご協力のお陰で、無事、年度を終えることができました。ありがとうございました。 有泉 裕子
- ◆2024年度の理事の皆様、お疲れ様でした。2025年度の理事になる皆様、よろしくお願ひいたします。 飯田富美子
- ◆副会長としての職務を全うできず、会員の皆様にご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。 一瀬 明
- ◆今期最後の例会。例会委員会のご努力下、例会にもいろいろな新しいアイデアが加わって、楽しいものになってきています。ありがとうございました。 一瀬 明
- ◆2年前(2023年)に私たちがドイツ・ヴリーツェン

## 俳句同好会便り

私の一句（六月の句会から）

河合 和郎

早や6月。今年も半分過ぎた。今月の兼題は「爪」。俳句で使おうとすると意外に難しい。メンバーはそれぞれ工夫を凝らして「爪」に挑戦。

植えもせぬ十薬茂り庭白し 石田 文彦

庭草で十薬ほど始末の悪い草はない。地下茎であつという間に広がってしまう。悪臭もきつい。漢方では解毒剤などにも使われる。花は白い十字。

苺みつつ内緒話の皿の上 池田ときえ

苺が三つ皿に残された。作者には苺の内緒話が聞こえるという。正にメルヘンの世界。俳句の庭は空想力豊かに遊べる庭が広がっている。

田舎道耳にやさしい遠蛙 野口 浩平

田んぼに水が張られるとどこからとなくカエルが集まってくる。そして大合唱が始まる。遠くから聞こえる蛙の合唱は心地よい音楽でもある。

台風爪痕未だ人癒えず 飯田富美子

五五七の破調。台風の傷跡を「心の爪痕」と詠んだ。天災のもたらす爪痕は、物の被害より、心の残る痛みのほうがはるかに重く厳しいと。

爪音の淡き調べや庭若葉 馬場 征彦

楽器を爪弾くメロディーが庭に流れている。すがすがしい若葉の庭が眼に浮かぶ。「淡き調べ」がみそ。大音量では絵にならない。

何があらむはたと鳴き止む雨蛙 田中 信昭

うるさい程鳴き募っていたカエルの声ピタッと鳴き止む。「何事が」と思うくらいの「はたと鳴き止む」作者はそんな微妙な一瞬を一句に。

キャンプの火囲み爪弾く青春歌 河合 和郎

今年は昭和100年とか。戦争という混乱の時代を経て、波乱万丈の世紀が過ぎ去った。そんな時代の流れの中にそれぞれの青春時代もあった。

編集後記

1年間、会員の皆さま方にはご協力をいただきありがとうございます。次年度も引き続きよろしく願いいたします。

情報委員会

に寄贈した桜が見事に咲き誇り、市民がその光景を見て毎日楽しんでいるとの礼状が、イルム市長から届きました。ハッピー ハッピー 岩島 寛

◆アジサイの開花時期がやってきました。色とりどりの花が私たちの心を和ませてくれます。さあ、出掛けてみましょう。 内山 雅之

◆会長・幹事さん、1年間、ごくろう様でした。 河西 成幸

◆昭和時代の象徴、長嶋茂雄が世を去りました。同年の我が身、共に繁栄を謳歌した昭和、その昭和は一層遠くなりました。 杉山 友一

◆久しぶりにホームグラウンドでシニア・ダンディーズが演奏します。前回より技量が上がっていると感じられたら、大きな拍手を下さい。一生懸命練習してきました。 立川富美代

◆八王子学園八王子高等学校男子バスケットボール部東京代表1位で出場し、関東大会にて優勝しました。女子バスケットボール部は東京代表2位で出場し1回戦にて負けました。

陸上競技部は東京都陸上競技選手権大会にて、男子は総合2位、女子は総合3位に入賞。各種目にて入賞者を出しました。 塚本 吉紀

◆私はついに今月3日、80歳になりました。ついこの前、後期高齢者になったばかりと思っておりましたら、早や80歳になってしまいました。当クラブではまだ若いと言われるので、年を忘れて励みたいと思います。

今まで健康でいられたのは、親と家内と今、同居のお嫁さんに感謝しています。HAPPYです！！

持田 律三

◆29期もいよいよ最終となりました。各行事も予定通り開催できて良かったです。皆さま、お疲れさまでした。 持田 律三

◆4月末の「家族の会」東京都支部総会で、13年間担当した支部代表を退任することができました。ハッピー！！ 大野 教子



アジサイ

梅雨時に色鮮やかに咲くアジサイは日本固有のものと思っていましたが。ヨーロッパにはなく、北米東部から南米にも分布しているそうです。 (雅)



